

鉄鋼環境 基金ニュース

令和 8 年 7 月 15 日
(2026 年)

第 84 号

主な掲載内容

- I. 第17回（令和8年度）助成研究成果表彰 受賞者の決定
- II. 第47回（令和8年度）助成研究テーマ 応募結果

I. 第17回（令和8年度）助成研究成果表彰の受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に授与されるもので、本年度は 14 名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、6 月 1 日開催の第 71 回通常理事会において、3 名の方の受賞が決定いたしました。

表彰式・受賞記念講演会は、8 月 24 日(月)15 時から鉄鋼会館 811 室で開催します。

1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	村上 太一	所属	東北大学大学院環境科学研究科・教授
助成研究期間	2 年間 : 令和 3 年 11 月～令和 5 年 10 月		
研究テーマ	ゼロカーボンを実現する炭素循環製鉄原理の創成		
研究成果	本研究は、鉄鋼業のカーボンニュートラルにおける大きな課題である精錬用の炭素の確保を可能にする新炭素循環製鉄システムを提案し、その主要なプロセスを検証し、原理的には可能であることを示した。今後、水素還元製鉄法と並ぶ新たな製鉄法として期待される。		

2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	刘 騰義	所属	東北大学 材料科学高等研究所・特任講師
助成研究期間	1 年間 : 令和 6 年 11 月～令和 7 年 10 月		
研究テーマ	金属錯体担持中空銅ナノ粒子触媒による高効率 C ₂ H ₄ 製造技術の開発		
研究成果	本研究は、CO ₂ から C ₂ H ₄ への変換過程を「CO ₂ →CO」および「CO→C ₂ H ₄ 」のタンドム触媒戦略に着目し、金属フタロシアニン触媒と中空銅ナノ粒子触媒を組み合わせた電極系を構築することにより、高効率な変換挙動を確認した。今後のカーボンニュートラルにおける CO ₂ 資源化に向けた触媒設計に関する新たな視点と指針を示すものと考えられる。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	金 キョンミン	所属	静岡大学グローバル共創科学部・助教
助成研究期間	2 年間 : 令和 4 年 11 月～令和 6 年 10 月		
研究テーマ	鉄鋼スラグの有機炭素固定能力を利用した炭素隔離技術の開発		
研究成果	本研究は、鉄鋼スラグと堆積物微生物燃料電池 (SMFC) 技術を融合させ、沿岸海域の生態系修復および新たな炭素隔離 (ブルーカーボン) 技術の開発を通じて、ブルーカーボン創出に資する鉄鋼スラグの新たな利用可能性を示した。		

Ⅱ. 第47回（令和8年度）助成研究テーマの応募結果

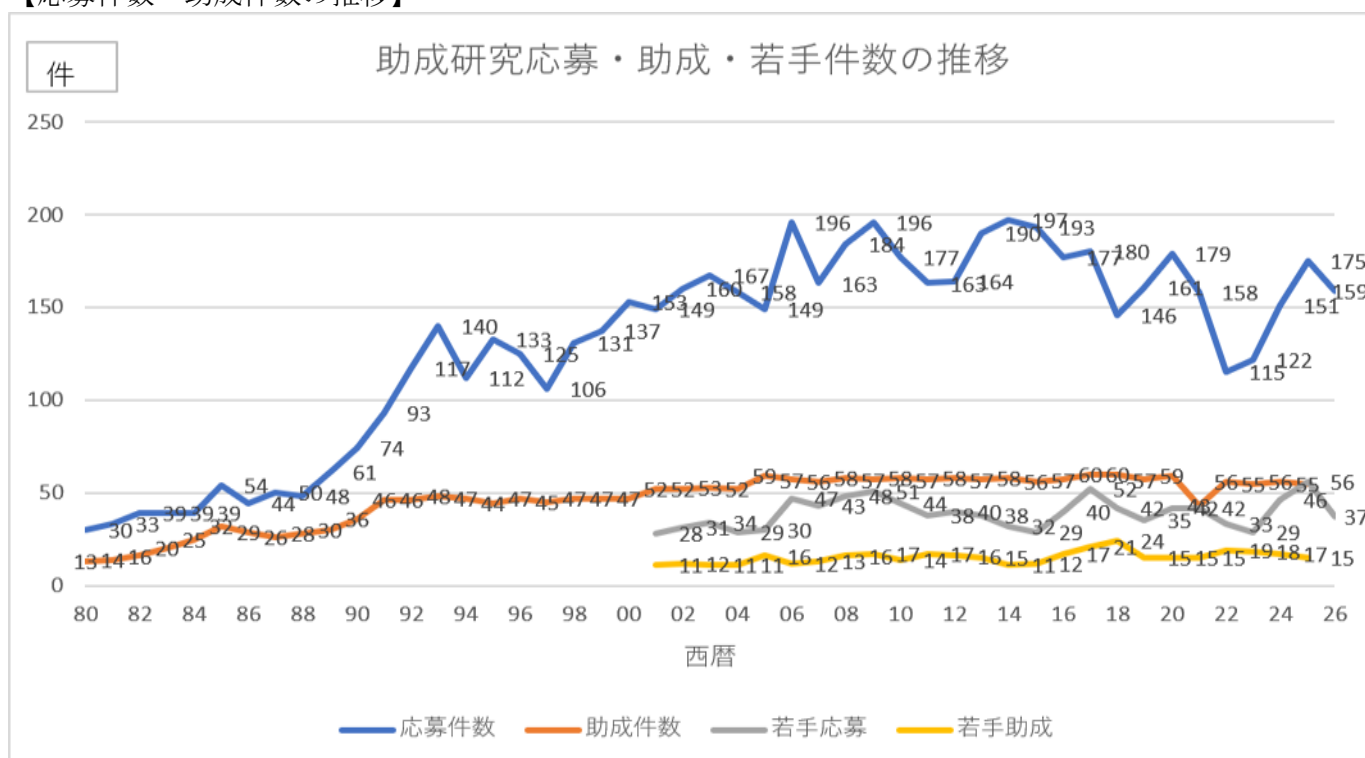
令和8年度の研究助成事業の公募は、4月1日から5月29日までの期間に行った。
今年度の応募結果は以下の通りである。

【応募状況全般】（カッコ内は昨年との差）

		令和8(昨年比)	令和7	令和6	令和5	令和4
応募 件 数	応募総件数	159(-16)	175	151	122	115
	1. 継続研究	34(+2)	32	28	34	19
	2. 新規研究	125(-18)	143	123	88	96
	初応募	42(-15)	57	45	30	26
	若手研究	37(-19)	56	46	29	33
	1. 大学から	134(-13)	147	129	110	103
	2. 高専から	11(-2)	13	12	4	7
	3. 研究所等から	14(-1)	15	10	8	5

- (1) 応募件数は、助成件数を絞った翌年の令和4年に115件まで減少したが、令和7年に175件まで回復。令和8年は地球環境分野を中心に159件までやや減少した。
- (2) 初応募が42件と昨年より15件減少。今後も鉄鋼環境基金の活動を広く知っていただけるよう努力する。
- (3) 若手研究者からの応募が37件と昨年より19件減少。
- (4) 大学応募が13件減少し、高専、研究所等からの応募はいずれも微減。

【応募件数・助成件数の推移】



【分野別応募件数】

- (1) 地球環境分野は、昨年までは増加傾向だったが、今年は72件(45%)まで減少。
- (2) 資源循環分野は、今年も増加傾向で35件(22%)まで増加。
- (3) 大気環境分野は、今年は20件(13%)と昨年同数。
- (4) 土壌水質分野は、一昨年より増加に転じ昨年は34件まで増加したが、今年は32件(20%)と微減。

分類・課題	令和3年度応募			令和4年度応募			令和5年度応募			令和6年度応募			令和7年度応募			令和8年度応募		
	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計
(1)地球環境	27	12	39	39	19	58	47	15	62	52	26	78	59	31	90	56	16	72
①カーボンニュートラル基盤技術	15	7	22	23	8	31	30	6	36	30	13	43	37	21	58	34	8	42
②抜本的なCO2排出削減	8	2	10	5	3	8	6	2	8	10	3	13	5	2	7	6	1	7
③未利用エネルギー有効活用	2	1	3	3	3	6	5	3	8	6	4	10	9	1	10	9	2	11
④地球温暖化に対する適応策・緩和策	2	1	3	7	4	11	5	3	8	6	5	11	7	6	13	4	1	5
⑤環境汚染物質の発生抑制技術	0	1	1	1	1	2	1	1	2	0	1	1	1	1	2	0	1	1
⑥鉄鋼プロセス転換による脱炭素価値評価手法																3	3	6
(2)資源循環(副産物)	33	9	42	15	4	19	22	6	28	21	8	29	24	7	31	29	6	35
①スラグの利用・高付加価値化	32	9	41	14	4	18	17	5	22	17	7	24	17	7	24	22	6	28
②副産物の減量・減容化、再利用	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	1
③他産業等で生じる副産物及び廃棄物の鉄鋼業への有効利用							3	1	4	3	1	4	5	0	5	4	0	4
④副生成物リサイクル製品の枯渇影響評価手法																2	0	2
(3)大気環境	24	7	31	12	5	17	11	4	15	11	7	18	14	6	20	14	6	20
①光化学オキシダント・PM2.5対策、測定技術	19	7	26	8	4	12	9	4	13	9	5	14	11	5	16	11	5	16
②水銀等の重金属類や大気汚染物質の低減技術	5	0	5	4	1	5	2	0	2	2	2	4	3	1	4	0	0	0
③窒素酸化物のアンモニア変換・無害化																3	1	4
(4)土壌水質	32	13	45	15	5	20	13	4	17	21	4	25	22	12	34	23	9	32
①水処理高効率化、重金属等の除去・回収	14	8	22	8	2	10	7	1	8	13	4	17	12	7	19	11	5	16
②土壌・地下水汚染の浄化・測定技術	6	3	9	5	1	6	3	0	3	7	0	7	10	4	14	10	4	14
③閉鎖性海域の環境対策	12	2	14	2	2	4	3	3	6	1	0	1	0	1	1	2	0	2
(6)その他	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計	116	42	158	82	33	115	93	29	122	105	46	151	119	56	175	122	37	159

事務局だより

役員の変更

【理事の選任】

就任（令和8年6月22日付）

吉野 恭司 J F E スチール株式会社常務執行役員
 酒井 伸一 公益財団法人京都高度技術研究所（ASTEM）副所長・大阪工業大学客員教授
 京都大学名誉教授
 泉山 雅明 日本製鉄株式会社参与 環境政策企画部長
 厚 雅憲 株式会社神戸製鋼所安全・環境部環境防災グループ長（部長格）

再任（令和8年6月22日付）

竹内 浩士 一般社団法人産業環境管理協会執行理事
 小澤 純夫 一般社団法人日本鉄鋼協会専務理事（業務執行理事）
 田村 潤一 一般社団法人日本鉄鋼連盟技術・環境部長
 一松 栄司 公益財団法人鉄鋼環境基金事務局長

退任（令和8年6月22日付）

田中 茂明 日本製鉄株式会社執行役員
 畠山 史郎 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター・東京農工大学名誉教授
 片山 英治 J F E スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長
 井上 尚和 株式会社神戸製鋼所安全・環境部シニアプロフェッショナル

【評議員の変更】

補欠就任（令和 8 年 6 月 22 日付）

田中 茂明	日本製鉄株式会社執行役員
片山 英治	J F E スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長

辞任（令和 8 年 6 月 22 日付）

日野 忠昭	J F E スチール株式会社常務執行役員
泉山 雅明	日本製鉄株式会社参与 環境政策企画部長

【代表理事の選任】

就任（令和 8 年 7 月 1 日付）

理事長	吉野 恭司	J F E スチール株式会社常務執行役員
専務理事	一松 栄司	公益財団法人鉄鋼環境基金事務局長

【評議員会議長の選任】

就任（令和 8 年 7 月 8 日付）

評議員会議長	田中 茂明	日本製鉄株式会社執行役員
評議員会議長代理	片山 英治	J F E スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長

鉄鋼環境基金ニュース第84号

令和8年7月15日発行

発行所: (公財)鉄鋼環境基金

〒103-0025東京都中央区日本橋茅場町3-2-10鉄鋼会館6階

[Tel:03-5652-5144](tel:03-5652-5144) [Fax:03-5641-2444](tel:03-5641-2444)

E-mail: sept.senmu@sept.or.jp

URL: <http://sept.or.jp/>